

木林 うくり

2016



12月4日(日) 大台町 植樹にさんか
 あちこちの三重の森へ行き、木について知りたくなった。
 行く前は、大きな木をみんなで協力してうえると思った。
 しかし、うえる木は、なんと小さい苗木(50cmぐらい)だった
 ので、びっくりした。

苗木の植え方



- 3か所の穴をほって、同じ苗木をうえる。これは、3本が協力して大きな木になる。さいごは一本だけ大きな木になる。木がなくなると、その分、木は強くなる。
- 穴をほり、古い木の根、こがれば、ハサミで切、て取りのぞく。根、こが木のエドみたく、エド切リバサミで切ると困る。根は、大変かかった。その分、木は強い。
- 苗木の根を水にぬらし、根をほぐす。ぬん土よりやわらかく、グニユ、グニユとして、冷たくて気持ちいい。
- 苗木のまわりに、おちばのまじった黒い土をかけて、苗木がたおれないように、足でギュッとおす。苗木を引っぱり、ぬけなければできあがり。
- 後は、同じようくりかえす。



2つの間ができた、ぬくってね

かんそう
 最後は、手もクツもどろまみれになって思った。じょうに大変だった。またこの木がどうな、たか見に行きたい。

ク	1. 日本 <small>ニッポン</small> の森林面積は、だいたいどれくらいでしょうか。	2. 三重 <small>ミエ</small> 県の森林面積は、だいたいどれくらいでしょうか。
イ	① 30% ② 50%	① 60% ② 70%
ズ	③ 70%	③ 80%



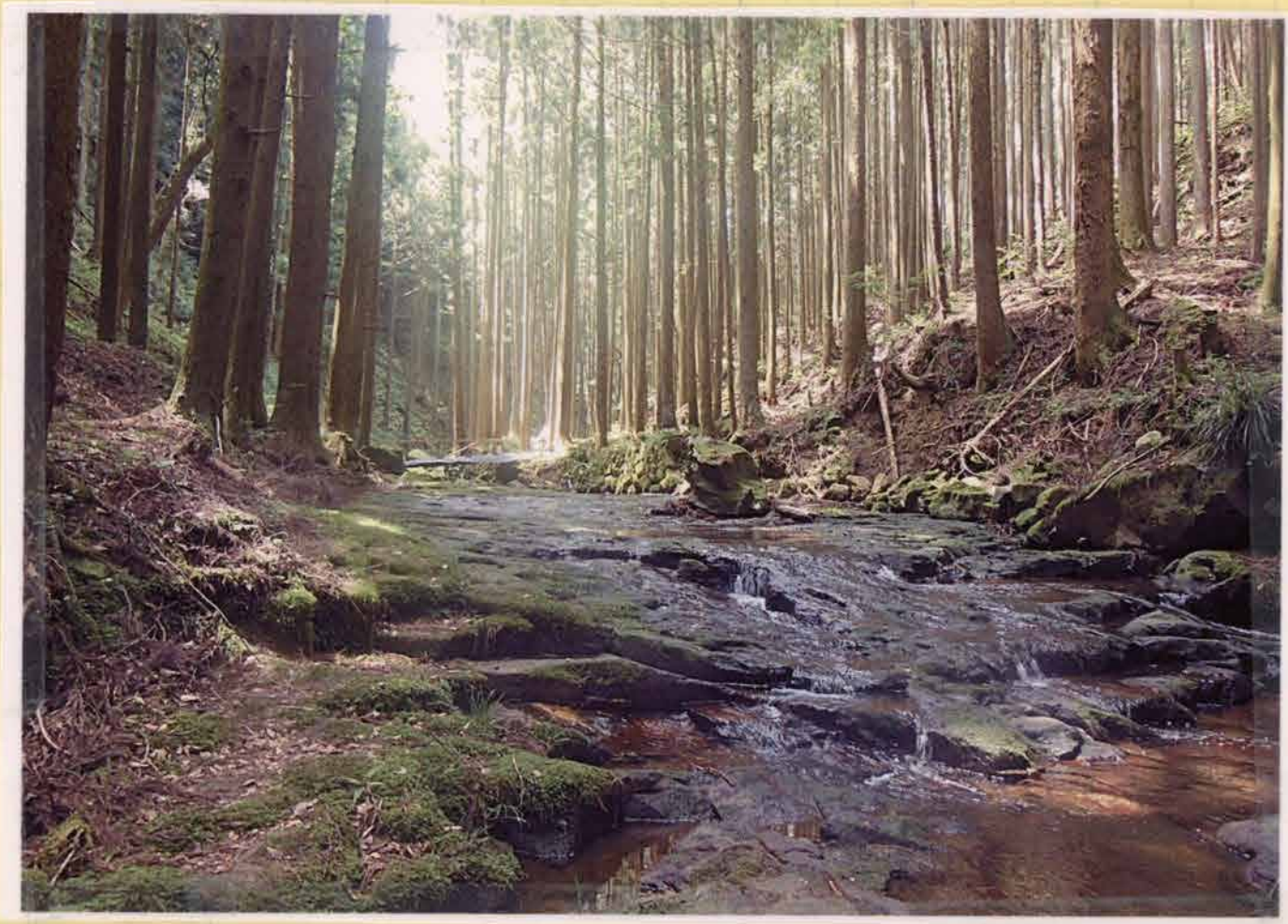
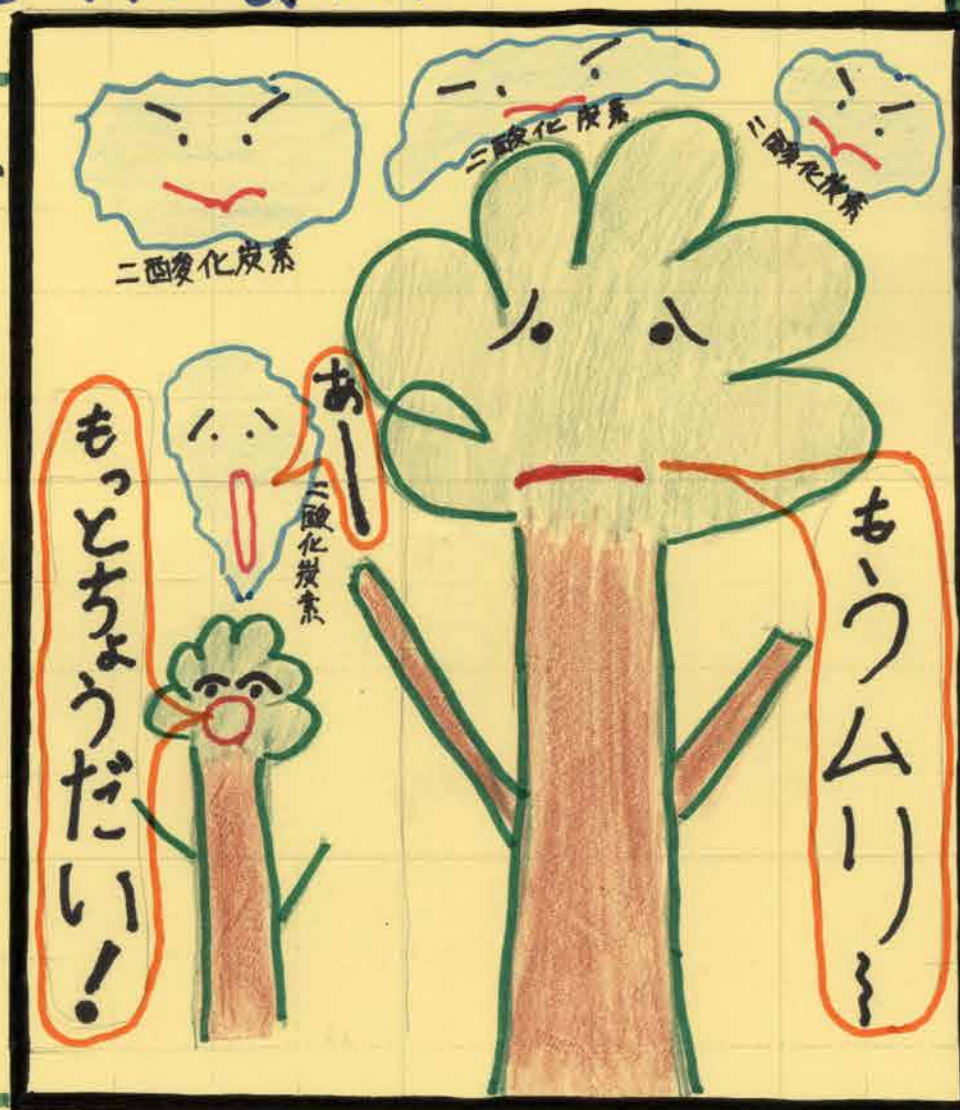
スタッフからの説明
 少し前のものすごい大雨で、山がくずれ、その力で、山の下にあった家がこわれ、人さすもなくな。そのわけは、山の木をきちんと育てず、ほったらかしにしておいたから。このように大切な山を育てていくことが大切だ。この話からは、住んでいる人や近くにいる人など多くの人を守るべく山を守、てほしい。

木林のイベントなどから学んだこと

- 木は、ちきうおんだん化にわるい二酸化炭素をす、てくれる。
- 小さい木は、い、ばい二酸化炭素をす、て大々なるが、大々大々な木は、おなかい、ばいで二酸化炭素をす、てくれない。

これからどうすればよいか

みんなが日本にある木をどんどん使、てくれたら、苗木をたくさんうえて新しい森ができる。そして、二酸化炭素もい、ばいす、てくれる。
 三重県には、おわせヒノキがあり、この木は、他の木より強く、長もちするので、びんこの木のモノを1つでもよいかからびん使、てほしい。見た目は、ピカッとしておいそい。



最優秀賞
 作品名
 森の大がエル

たくさん木を使うには

- 木の道路... 床のように木を何枚もはり合わせて作る
- 木の線路... 家をたてるように、長い木をたなげていく
- 木の乗りもの... 車、バイク、トラックなどをぶ、やしていく
- その他... 木のビル、木のゆうえんち、木のガードレール、木のれいぞうこ、木のエアコンをつくる

まとめ

今年は、色々な三重の森へ行、た。春は、花見、秋は、川遊び、冬は、魚とり、木の作りをした。森のいいところを、この森は、いつまでも、この森は、てほしい。おの、写真は、第3回みえの森フォトコンテストで賞をと、たぞ。



入選
 作品名
 おもしろい木の集まり

こどもエコクラブ壁新聞 (平成28年度) クラブ所在地 三重県 都道府県 津市 市区町村

クラブ名
なひがんばる隊

(全国事務局使用済 記入しないでください) □幼児クラブの審査を希望 (平成28年度/2016年度 応募作品)